



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月14日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 宮川 弘和 TEL 078-303-9010
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日 配当支払開始予定日 平成27年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	13,050	1.6	1,071	8.4	1,175	5.6	708	8.9
27年2月期第2四半期	12,842	16.2	988	29.6	1,112	24.0	651	21.4

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 845百万円 (40.2%) 27年2月期第2四半期 603百万円 (△37.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	73.28	—
27年2月期第2四半期	67.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	24,444	14,186	52.0	1,314.84
27年2月期	24,411	13,396	49.1	1,238.66

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 12,711百万円 27年2月期 11,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	17.50	—	22.50	40.00
28年2月期	—	20.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	0.7	2,200	△2.2	2,600	△6.0	1,600	△2.4	165.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	9,668,000株	27年2月期	9,668,000株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	610株	27年2月期	610株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	9,667,390株	27年2月期2Q	9,667,422株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、

【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成27年10月28日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 製品およびサービスに関する情報	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月から6月までの経済成長率がマイナスとなり、国内の自動車生産台数が依然前年割れの状況が続く等、当社を取り巻く経済環境は非常に厳しくなっております。一方、中国の景気減速が鮮明になってきたことや米国の利上げ懸念から通貨安が進行している国もあり、世界経済全体の経済成長率が鈍化する見通しとなっており、

このような状況のもと、当社グループにおきましては、合成潤滑油、インドネシアでの紙おむつ用ホットメルト接着剤、北米での特殊潤滑油等が堅調な売上高を維持したものの、その他の分野においては、国内外での需要の減少等により、売上高は伸び悩みました。一方で、原材料価格低下に伴う売上原価の低減により利益は増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,050百万円（前年同期比1.6%増）となり、経常利益は1,175百万円（同5.6%増）、四半期純利益は708百万円（同8.9%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

(特殊潤滑油)

当社主力の特殊潤滑油におきましては、切削油剤において新規顧客の獲得が比較的順調に進み販売を増やすとともに、熱間鍛造潤滑剤が国内外で販売を増加したものの、全体としては、主要顧客である自動車生産の低迷により売上高は伸び悩みました。

(合成潤滑油)

高温用合成潤滑油は自動車のベアリング向けグリース基油が、日本、中国等における自動車生産台数の低迷に伴い売上高が伸び悩んだものの、ハードディスク表面潤滑剤は、新製品への切り替えが引き続き進むとともに、円安の寄与もあって売上高が増加しました。

(素材)

流動パラフィン、国内化粧品原料用途が堅調に推移したものの、その他の分野については国内外における競争激化により数量が伸び悩み、原材料価格低下に伴う販売単価の下落により売上高は減少しました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートの売上高も伸び悩みました。

(ホットメルト接着剤)

ホットメルト接着剤は、主力である大人用紙おむつなどの衛生材用途が堅調に推移する中、粘着用途では新規顧客の獲得により売上高を伸ばすことができました。

以上の結果、当セグメントの売上高は10,010百万円（前年同期比1.9%減）となり、セグメント利益は643百万円（同12.0%増）となりました。

②中国

中国では、今年度から注力し始めた切削油剤が堅調に推移したものの、自動車生産台数の伸び悩みに伴い、主力のダイカスト用油剤が伸び悩みましたが、円安により売上高では前年同期を上回りました。

当セグメントの売上高は1,347百万円（前年同期比13.9%増）となり、セグメント利益は147百万円（同3.4%増）となりました。

③東南アジア

タイでは、依然自動車生産台数が低迷する中、切削油剤、難燃性作動液の販売が堅調に推移したことから前年同期を上回る売上高を確保しております。インドネシアでは、子供用紙おむつ向けホットメルト接着剤の生産が順調に拡大したものの、自動車生産台数の減少に伴うダイカスト用油剤の売上高伸び悩みやルピア安により、収益は厳しい状況が続いております。

当セグメントの売上高は1,986百万円（前年同期比14.0%増）となり、セグメント利益は200百万円（同4.9%減）となりました。

④北米

北米では、堅調な自動車生産を背景に、自動車関連顧客向けの販売が順調に推移するとともに、前期進出しましたメキシコにおける特殊潤滑油等の売上高が増加しました。また、合成潤滑油も売上高を伸ばしました。

当セグメントの売上高は426百万円（前期比23.0%増）となり、セグメント利益は44百万円（同21.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて34百万円増加し、24,444百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が530百万円、たな卸資産が189百万円減少する一方で、有形固定資産が799百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて757百万円減少し、10,258百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,037百万円、未払法人税等が210百万円、退職給付に係る負債が223百万円減少する一方、短期借入金が364百万円、長期借入金が374百万円増加したことによります。

純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて791百万円増加し、14,186百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて349百万円減少し、2,090百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは560百万円の収入（前年同期は1,011百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上および売上債権の減少等によるキャッシュ・イン・フローが仕入債務の減少および法人税等の支払額等によるキャッシュ・アウト・フローを上回ったこと等によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,198百万円の支出（前年同期は692百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは471百万円の収入（前年同期は704百万円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月8日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を基礎とする方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が127百万円増加、退職給付に係る負債が209百万円減少し、利益剰余金が217百万円増加しております。なお、退職給付に係る資産については、投資その他の資産に含めて表示しております。また、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,502	2,476
受取手形及び売掛金	6,895	6,364
商品及び製品	2,396	2,302
原材料及び貯蔵品	1,692	1,596
その他	354	354
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	13,815	13,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,259	2,205
機械装置及び運搬具（純額）	1,146	1,495
土地	2,438	2,435
その他（純額）	1,837	1,344
有形固定資産合計	6,679	7,479
無形固定資産		
のれん	1,111	1,047
その他	645	657
無形固定資産合計	1,756	1,704
投資その他の資産	2,160	2,190
固定資産合計	10,595	11,372
資産合計	24,411	24,444

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,058	4,021
短期借入金	1,898	2,262
未払法人税等	454	243
賞与引当金	435	417
その他	1,044	1,023
流動負債合計	8,888	7,967
固定負債		
長期借入金	1,374	1,748
長期未払金	63	60
退職給付に係る負債	571	348
その他	119	135
固定負債合計	2,127	2,291
負債合計	11,015	10,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091	2,091
資本剰余金	1,951	1,951
利益剰余金	6,991	7,699
自己株式	△1	△1
株主資本合計	11,032	11,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	45
為替換算調整勘定	850	893
退職給付に係る調整累計額	26	34
その他の包括利益累計額合計	943	971
少数株主持分	1,421	1,475
純資産合計	13,396	14,186
負債純資産合計	24,411	24,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	12,842	13,050
売上原価	8,966	8,824
売上総利益	3,876	4,227
販売費及び一般管理費	2,888	3,156
営業利益	988	1,071
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	74	101
為替差益	18	—
その他	31	35
営業外収益合計	141	156
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	—	39
その他	8	4
営業外費用合計	17	52
経常利益	1,112	1,175
税金等調整前四半期純利益	1,112	1,175
法人税、住民税及び事業税	249	303
法人税等調整額	97	39
法人税等合計	346	343
少数株主損益調整前四半期純利益	766	832
少数株主利益	115	123
四半期純利益	651	708

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	766	832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△25
為替換算調整勘定	△134	20
退職給付に係る調整額	—	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	11
その他の包括利益合計	△163	13
四半期包括利益	603	845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	517	737
少数株主に係る四半期包括利益	86	108

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,112	1,175
減価償却費	338	369
持分法による投資損益(△は益)	△74	△101
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△87	—
退職給付に係る資産又は負債の増減額	—	△29
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	△3
受取利息及び受取配当金	△18	△19
支払利息	10	10
売上債権の増減額(△は増加)	△447	526
たな卸資産の増減額(△は増加)	△447	165
仕入債務の増減額(△は減少)	528	△1,014
その他	256	△120
小計	1,188	940
利息及び配当金の受取額	96	134
利息の支払額	△9	△9
法人税等の支払額	△263	△510
法人税等の還付額	—	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,011	560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△2	△100
有形固定資産の取得による支出	△653	△1,004
無形固定資産の取得による支出	△33	△27
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付金の純増減額(△は増加)	2	1
その他	△5	△66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△692	△1,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200	237
長期借入れによる収入	1,000	930
長期借入金の返済による支出	△296	△428
配当金の支払額	△170	△218
少数株主への配当金の支払額	△12	△32
その他	△19	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	704	471
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	997	△132
現金及び現金同等物の期首残高	1,441	2,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,438	2,090

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,590	1,178	1,738	336	12,842	—	12,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	613	5	4	10	632	△632	—
計	10,203	1,183	1,741	346	13,473	△632	12,842
セグメント利益	574	142	211	36	963	26	988

(注) 1. セグメント利益の調整額26百万円には、セグメント間取引消去25百万円、たな卸資産の調整額1百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,310	1,344	1,971	426	13,050	—	13,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	700	4	15	—	720	△720	—
計	10,010	1,347	1,986	426	13,770	△720	13,050
セグメント利益	643	147	200	44	1,034	37	1,071

(注) 1. セグメント利益の調整額37百万円には、セグメント間取引消去39百万円、たな卸資産の調整額△2百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	13,023	101.6
特殊潤滑油	5,991	102.0
合成潤滑油	1,439	114.6
素材	1,728	84.4
ホットメルト接着剤	3,273	109.3
その他	592	92.5
賃貸ビル事業	27	99.5
合計	13,050	101.6

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	4,322	488	45	4,855
II. 連結売上高(百万円)				13,050
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	33.1	3.7	0.3	37.2

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………ブラジル

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。